

## 平成30年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	海の生物と環境の相互作用		
実習内容	<p>海洋の生態系のメカニズムは、生物同士および生物と環境の間の相互作用によって成り立っている。これらの相互作用を解析するためには、生物と環境パラメーターの解析手法を習熟し、野外調査に応用できる能力が求められる。</p> <p>本実習では、海洋環境を把握する際の基礎的なデータとなる、電導度-水温-深度(CTD: Conductivity-Temperature-Depth)観測を実施し、海洋観測の基礎的な技術と解析手法を習得する。また、底泥の採取をドレッジやスミスマッキンタイヤー、エックマンバージ採泥器を利用して、海底の生物の採取を行い、生物相や生物多様性、汚濁環境下における指標生物などの同定およびカウントを行い、生物相の観点から見た生態系の変化を解析する。さらに、潮間帯における生物採取および観察を行い、帯状分布の解析を実施する。潮間帯上部から下部にかけて観察される生物相が、潮位の変化や地形、その他の環境要因によって変化する様子を解析・観察する。</p> <p>これらの解析結果をまとめて考察し、進行状況に合わせて発表などを行う。</p>		
実習内容キーワード	CTD 観測、採泥、潮間帯		
担当教員氏名・所属・役職名	和田茂樹・今孝悦（生命環境系・助教）		
協力教員氏名・所属・役職名			
対象学生・学年	大学院生	開講期間	平成 30 年 9 月 25 (火)～平成 30 年 9 月 27 日 (木)
開講大学・施設名	筑波大学下田臨海実験センター		
施設の住所	〒415-0025 静岡県下田市 5-10-1		
電話	0558-22-1317	F a x	0558-22-0346
e-mail	swadasbm@shimoda.tsukuba.ac.jp	Web Site	http://www.shimoda.tsukuba.ac.jp/
交通案内	伊豆急行線『伊豆急下田』駅下車、徒歩約 30 分、タクシーでは約 5 分。バスでは、駅前のバスターミナルより石廊崎、下賀茂、仲木方面行きに乗り約 5 分、『鍋田口』で下車して徒歩約 5 分。		
費用	宿泊費と食費は 1 日あたり約 3,000 円		
授業科目名	マリンバイオフィールド実習		
単位数	1	定員数	15
授業料の徴収について	不徴収（各大学から筑波大学生命環境科学研究科長宛てに指定の特別聴講学生願書を提出すること）		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	先着順。定員を超える場合には、なるべく多くの大学から受け入れるようにする（抽選などにて調整する）。		
選抜結果連絡法	e-mail によって、履修に必要な書類とともに本人に連絡する。		